



イ 弗三〇一	一	新約全書使徒パウロ、ピレモンに贈れる書
ロ 弗二〇廿五	二	イエスキリストの爲に囚人となれるパウロ及び兄弟テモテ我儕が愛する者われらが勤勞の侶なるピレモン 及び我儕が姉妹アピア我儕と共に
ハ 西四〇十七	三	戰争をなせるアルキボ並に爾の家内の教會に書を贈る 願くハ爾曹われ
ニ 經十六〇五	四	らの父なる神および主イエスキリストより恩寵と平康を受よ
ホ 弗一〇二	五	時に常に爾の事を陳て我神に謝す 蓋われ爾が愛と信仰をもて主イエス
ヘ 弗一〇十六	六	に向また諸の聖徒に向ふことを聞ばなり 我が祈る所ハ爾と偕に信仰を
ト 弗一〇十五	七	有てる人なんぢらの中なる凡の善事を知に因るの信仰功効をなせキリス
リ 弗一〇九、十	八	トの榮光を顯はすに至らんこと也 兄弟よ我なんぢの愛に由て大なる喜
ヌ 後一〇十六	九	樂と安慰を得たり蓋聖徒等の心なんぢに由て安ぜられたれば也 是に由
ル 後二〇六	十	て我キリストに在て憚る所なく爾に其作べき事を命するこゝを得と雖も
ヲ 哥後十〇一		愛の故に因て寧ろ爾に求む我すでに年老いまキリストイエスの爲に囚
ワ 哥前四〇十五		人となれるパウロ此の如き狀にて わが縲縲の中にて生し子なるオチシ
カ 西四〇九		



ナ 哥後七〇十六	子 哥後八〇廿三	ツ 太三三〇八 提前六〇二 約壹五〇一	ソ 哥後九〇七 創四十五〇 五、八	レ 哥後九〇七 創四十五〇 五、八	マ 哥前十六〇十 七 腓二〇廿	四 腓四〇廿二	十二	十一		
二	三	四	五	六	七	八	九	十		
われ爾が服ふことを深く信じて之を爾に書贈る爾の行ふ所へ必ず我いふ	より益を主に由て得んことを望む爾わが心をキリストに由て息しめよ	ん爾の身をもて償ふべき負債われに有されど我これを言す 兄弟よ我爾	債あらば爾これを我に歸せよ 我パウロ親手これを書り我かならず償は	なさば請われを納る如く彼を納れ 彼もし爾に不義をなし又なんぢに負	す況んや爾肉に由ても主に由ても之を愛せざる可んや 爾もし我を偖こ	に超るもの愛する兄弟と作しむる爲に非ざりしを知んや我これを殊に愛	暫く爾を離しハ爾をして永遠かれを留めよ 此後かれを僕の如くせず僕	に事しめんさ欲へり 然ども我なんぢの肯ひざる事ハ何をも行を好まず	益ある者さなれり我かれを爾の所へ歸す 爾これを納れ彼ハ我が心なり	の事を爾に求む かれ先にハ爾に益なき者なりしが今ハ爾にも我にも

ナ 哥後七〇十六
子 哥後八〇廿三
ツ 太三三〇八
提前六〇二
約壹五〇一
ソ 哥後九〇七
創四十五〇
五、八
レ 哥後九〇七
創四十五〇
五、八
マ 哥前十六〇十
七 腓二〇廿
四 腓四〇廿二
十二
十一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
二
三
四
五
六
七
八
九
十

十七 可んや 爾に由て主に由て之を愛せざる可んや 爾も我を愛せ
 十八 なさバ 諸われを納る如く 彼を納らば 我も爾に不義をなし 又なんぢに負
 十九 償あらバ 爾これを我に歸せよ 我バ 爾に有されど 我これを言はず 兄弟は 償の
 二十 人爾に身を由て償ふべき 負償われに 有されど 我これを言はず 兄弟は 償の
 二十一 より 益を主に由て得んことを望む 爾に心をキリストに由て息しめよ
 二十二 われ 爾に 罪を 深く 信じて 之を 爾に 書する 爾の 行ふ 所は 必ず 我いふ

ラ 羅十五〇卅五
 卅二
 ム 西一〇七、四
 〇十二
 ウ 徒十二〇十
 二、廿五
 非 徒十九〇廿
 九、廿七〇二
 西 四〇十
 ノ 西四〇十四
 提 後四〇十
 オ 提後四〇十一
 提 後四〇廿二

三三 所よりも勝らんことを知り 又なんぢ我ためニ寓所を備へ蓋われ 爾曹
 三二 の祈禱に由て終ニ我身の爾曹に予られんことを意へべ也 イエスキリストに
 二四 在て我と偕に囚人となれるエバ フラス 爾の安を問 わが勤勞の偈なるマ
 二五 コアリス タルコ、テマス、ルカも 同く安を爾に問 願くハ我主イエスキリス
 トの恩恵つねに爾曹の靈と偕に在んことをアメン

新約全書 腓利門書 終
 老んやくせんしよひれもんゆみをはり

新約全書 腓利門書 自廿二至廿五節

六百卅一



